

平成 28 年度 一般社団法人全日本愛鯉会事業報告

(平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日)

※ 全 般

平成 28 年度は各事業計画に基づき、それぞれ担当部の主導によって実施され、所期の成果を挙げて終了した。特に、新潟県小千谷市において開催された第 52 回国際錦鯉品評会は、国内外会員の出品協力および東海地区会員の尽力により多大な成果を収めた。当初計画された第 1 回国際若鯉品評会は中止とし、若鯉大会の開催についてはその実施から再検討を要することが確認された。

数年来の課題である会員数維持と会員の高齢化の問題については、依然重要な案件であり、新たな取り組みの必要性に迫られている。

1. 組織の運営に関する事項

- (1) 定時総会・理事会・定期部会・公認審査委員会等諸会議は、計画どおり開催された。
- (2) 会員数の状況は、国内会員 816 名・国外会員 934 名、総数 1,750 名（前年度比△80 名）であった。会員構成比は、国内 47%・国外 53%となった。

国内においては、通常会員 38 名の新再入会者を得たものの、総合的には前年度より 66 名の減となった。支部・分会で楽しめる地域活動を奨励し、若い愛鯉家を育てることが急務である。国外においては、拡充が見込まれる地域には戦略をもって会員増進を計ることが望ましいが、本会の基本理念であるアマチュア精神ボランティア精神の浸透に留意すべきである。為替レートの推移、各国の経済状況には注視を要する。

2. 品評会に関する事業

- (1) 第 1 回国際若鯉品評会

各支部長に対して実施した国際若鯉品評会についてのアンケート結果と開催予定案の再検討を行なった結果、中止の結論に至った。

- (2) 第 52 回国際錦鯉品評会

期日：平成 28 年 11 月 11 日（金）～13 日（日）

場所：新潟県小千谷市「小千谷市総合体育館 コミュニティプラザ」

担当：東海地区

協賛：全日本錦鯉振興会

後援：文化庁・新潟県・小千谷市・新潟日报社・NHK 新潟放送局・BSN 新潟放送・

NST・TeNY テレビ新潟・UX 新潟テレビ 21

本品評会の成果 出品者数 292 名（国内 216 名・国外 76 名）

出品尾数 1,278 尾（国内 1,154 尾・国外 124 尾）

3. 調査・研究に関する事業

- (1) 飼育魚病研究会の開催

期日：平成 29 年 2 月 5 日

場所：「東京流通センター」

出席者：72 名

内 容	講 師
-----	-----

「ひかり菌の最新データと餌に関する豆知識について」	(株)キョーリン 企画開発部
---------------------------	-------------------

※研究会の内容は、会誌「日鱗」に掲載予定。

4. 普及並びに指導に関する事業

(1) 本部主催審査研修会等の開催

期 日	場 所	内 容	参加者
6月4日	神戸 ポートタワーホテル	・昭和三色5尾による評価 *有田農産有限会社協力 (ビニール袋審査)	41名
9月4日	岡山桃太郎鯉	・紅白・大正三色・昭和三色 5尾による評価 *岡山桃太郎鯉協力	鑑賞審査部員他 35名
2月4日 ～5日	東京流通センター	・昭和三色5尾による評価 *岡山桃太郎鯉協力	94名
各地区及び海外委託審査研修会		・各地区等により研修鯉設定	本部統一様式報告

(2) 公認審査員補考試を東京流通センターにて平成29年2月4日に実施した。

受験者 国内3名、国外7名

5. 社会奉仕に関する事業

(1) 地域施設への錦鯉寄贈、また小学校・中学校への錦鯉を通しての日本文化の啓蒙活動が各支部有志により行われた。

6. 国際交流に関する事業

(1) 海外支部等の要請に応じて、次のとおり審査員・指導講師等の派遣を行った。

期 日	派遣先品評会名等	派遣審査員等 (敬称略)
4/2	第9回北加支部	山崎 美左治
4/17	第35回AKAバンクスタウン支部	斉藤 昌治
4/23～24	第23回KLANドイツ支部 インターコイ2016	元田 富男・山田 幹洋
5/8	第4回イーストタイ支部若鯉	角南 修一
5/14	バンドン支部2016年	会長賞のみ交付
5/14～15	第25回南アフリカ支部	会長賞のみ交付
5/15	第39回KSAオーストラリア支部	会長賞のみ交付
5/22	第16回香港支部若鯉	アラン・ネメンツィック
6/11～12	第9回アジアカップ・コイショー ※審査研修会開催 (シンガポール)	中島 正章・白坂 大四郎 山崎 美左治・上田 正裕 田中 昭次

6/11～12	第 35 回ブラジル支部	会長賞のみ交付
6/11～12	第 15 回ノーザンミッドウエスト支部	会長賞のみ交付
6/12	第 27 回西オーストラリア支部	会長賞のみ交付
6/25～26	ベルギー支部 2016 年	馬上 宗顕
7/29～31	第 36 回ノースウエスト支部	会長賞のみ交付
7/29～31	第 4 回トライステート支部	会長賞のみ交付
8/19～21	第 24 回オランダ支部 ※本部海外委託審査研修会開催	元田 富男・山本 毅
8/15～16	第 13 回マレーシア支部	会長賞のみ交付
9/10～11	第 23 回ポトマック支部	ジェラード・マクドナルド カズヨ・マクドナルド
9/17～18	第 15 回ノーザンミッドウエスト支部	ジェラード・マクドナルド カズヨ・マクドナルド
12/3～4	台湾国際錦鯉品評会 2016	林 豊廣・玉木 成美
1/14～15	第 31 回香港支部	小泉 久司・野地 英司 田中 広信
2/14～15	第 17 回バンドン支部	会長賞のみ交付
3/11～12	サザンコイ支部 2016	会長賞のみ交付
3/18～19	第 43 回南加支部	横山 惇・中野 榮一

※品評会の開催 24 回
 ※審査研修会の開催（報告済） 2 回
 ※会長賞のみ交付 11 品評会
 ※審査員講師等派遣数 のべ 25 名(13 品評会)

7. 出版に関する事業

(1) 「日鱗」(和文・英文)を毎月発行した。

※処務の概要

1. 役員に関する事項

平成 29 年 3 月 31 日現在

役 職	氏 名	就任年月日	担 任 職 務
理 事 (会 長)	馬 上 宗 顕	平 25.6.9	代表理事 公認審査員会会長
理 事 (副 会 長)	北 川 學	同上	業務執行理事・会長補佐 公認審査員会副会長
理 事 (副 会 長)	鈴 木 定 通	同上	業務執行理事・会長補佐 関東地区長
理 事 (専務理事)	角 南 修 一	同上	業務執行理事・会長補佐 鑑賞審査部担当

理事 (常務理事)	横山 惇	同上	業務執行理事・会長補佐 飼育魚病研究部担当
理事 (常務理事)	中島 正章	同上	業務執行理事・会長補佐 総務部担当
理事 (常務理事)	元田 富男	同上	業務執行理事・会長補佐 国際部担当・東海地区長
理事	野瀬 康二	同上	
理事	鷹野 義男	同上	北陸地区長
理事	山崎 美左治	同上	品評会事業部担当
理事	福井 輝男	同上	飼育魚病研究部長 品評会事業部副部長・鑑賞審査部副部長
理事	平賀 富弥	平 26.6.15	品評会事業部長・鑑賞審査部副部長 東北地区長
理事	山本 毅	平 27.6.14	国際部長
理事	沢村 昌彦	同上	鑑賞審査部長・品評会事業部副部長
理事	上田 正裕	同上	総務部長・鑑賞審査部副部長 近畿地区長
理事	山田 幹洋	同上	国際部副部長 中国地区長
理事	玉木 一浩	同上	品評会事業部副部長・飼育魚病研究部副部長 四国地区長
理事	田中 昭次	平 28.6.5	
監事	三上 彌六	平 25.6.9	定款第 24 条の職務
監事	白坂 大四郎	同	同

物 故 者 (敬称略)

岩手県支部会員	竹澤 重利
新潟県支部会員	渡部 義和
長野県支部会員	桜井 福蔵
愛知県支部会員	鈴木 千雄
兵庫県支部会員	嵯峨 勝義
兵庫県支部会員	中村 光男
兵庫県支部会員 (平 27 年度)	児玉 研司
広島県支部会員	栗村 圭司
広島県支部会員	上村 薫

謹んで、ご冥福をお祈り申し上げます。

4. 役員会等に関する事項

(1) 理事会

期日・場所	議案事項	会議の結果
<p>5/14～15 (第17回) 於：岡山</p>	<p>1. 第4回定時総会提出議案について</p> <p>(1)平成27年度事業報告(案) (2)平成27年度計算書類(案) 貸借対照表及び正味財産増減計画書 公益目的支出計画実施報告書 (3)平成28年度事業計画・予算書</p> <p>(4)補充役員の選任</p> <p>2. 本部会員の異動について</p> <p>3. その他 (1)職員の退職金について</p> <p>(2)第1回国際若鯉品評会の取り扱いについて</p> <p>(3)平成28年度海外支部委託本部研修会について</p> <p>(4)その他</p>	<p>○既に承認済みである第4回定時総会の開催日程場所について確認された。</p> <p>○原案のとおり総会報告が承認された。</p> <p>○原案のとおり総会提案が承認された。</p> <p>○国際品評会での全日本錦鯉振興会協賛による夢展が開催されないことが、馬上会長より報告され、夢展関連の予算が削除され、修正予算案が承認された。</p> <p>○伊庭幸治副会長の3月末辞任を受け、近畿地区協議会より、補充役員候補として田中昭次会員の推薦があり、第4回定時総会へ提案することが承認された。</p> <p>また、九州地区協議会より地区長不在の現状を鑑み、増員役員候補として長崎県支部の植木幹彦会員の推薦があったが、植木会員については次期改選時に役員候補選考委員会への推薦をもって対処することとなった。</p> <p>○本部会員の承認・異動が下記のとおり承認された。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・承認1名 植木 幹彦(長崎県) ・通常会員への異動4名 ・退会6名 <p>○3月に退職した2名の職員へ支払われる退職功労金について、角南専務理事の提案額が承認された。福井理事より、事務局職員規定の改訂の必要性が提言され、社会保険労務士を交え、現行法に則った改訂に着手することとなった。</p> <p>○第1回国際若鯉品評会が事実上の中止となった件について、今後、若鯉品評会を計画するについては原案からの見直しで対処すべきとの見解に至った。</p> <p>○海外支部委託本部研修会を8月のオンライン支部品評会時に開催することが山本毅理事より提案され、職員1名の派遣とともに承認された。</p> <p>○岸良広島県支部長から提出された具申書について、振興会と愛鱗会で交わされた夢展に係わる覚書とは直接関係のない内容であり、また個人に対しての要求事項が含まれており会の趣旨にも相容れないとの判断から、審議事項として扱わないこととした。この結果については、馬上会長が岸良支部</p>

		<p>長に直接返答することとした。</p> <p>○国際公認審査員制度の設置について、海外支部品評会への審査員派遣確保のためにも検討をお願いしたいとの山本理事からの意見に対し、その制度内容から、国際部ではなく鑑賞審査部を経て公認審査員会で討議するのが適当であるとの見解の一致を得た。また、海外派遣審査員への旅費補助については、原資を確保するため何らかの方法を模索する必要があることが確認された。</p>
<p>6/4～5 (第18回) 於：神戸市</p>	<p>1. 第4回定時総会への提出議案について</p> <p>2. 次回理事会等の開催日程について</p> <p>3. 平成28年度第52回国際展の日程について</p> <p>4. 平成29年度第53回国際展の開催予定について</p> <p>5. 各部会の報告</p> <p>(1) 総務部会の結果報告</p> <p>(2) 品評会事業部会の結果報告</p> <p>(3) 国際部会の結果報告</p> <p>(4) 飼育魚病研究部会の結果報告</p>	<p>○馬上会長より、前回理事会で承認された、第4回定時総会への提出議案および報告事項についての確認が行われた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成27年度事業報告 ・平成27年度計算書類 ・公益目的支出計画期間変更 ・平成28年度事業計画・予算書 <p>○鑑賞審査部研修会と同時に9月に岡山市において開催することが了承された。横山常務より、研修会の開催地については国際展開催地区を優先していた先例を再検討いただきたいとの意見が出された。</p> <p>○第52回国際展について、元田常務より、11月11～13日の日程でお願いしているが、小千谷市から確定の連絡を待っているところであることが報告された。</p> <p>○近畿地区長上田理事より、神戸フルーツ・フラワーパークでの開催予定と会場の状況が報告された。</p> <p>○総務部上田理事より、オレンジブックの改訂について、変更箇所の検討に着手していることが報告された。</p> <p>○品評会事業部平賀理事より、品評会事業部会に於いても国際若鯉品評会の中止について確認されたことが報告された。第52回国際展については、展示用ビニール袋を変更すること、品種区分等は前回と同じとすることが報告された。</p> <p>○国際部元田常務より、海外品評会派遣審査員への旅費助成金増額が提案され、協力者確保の目的から、平成28年度に於いては国際部案を承認するに至った。中島常務より、旅費助成の継続には財源確保が必要であるとの意見が出され、山本理事より公認審査員会会費の増額の提案がなされた。増額として4,000円が適当であるとする了承を得たが、徴収方法を含めて検証を行い、</p>

	<p>6. 支部長会の結果報告</p> <p>10. その他 (1)海外支部・友好クラブ承認について</p> <p>(2)福井県支部からの上申書の対応について</p>	<p>必要に応じて次年度の公認審査員総会に上程することが確認された。</p> <p>○飼育魚病研究部横山常務より、2月の魚病研究会は(株)キョーリンによる講演を行うことが報告された。</p> <p>○支部長会議長等の選任が行われた。 議長 長尾昭一 (三重県) 副議長 高橋立志 (栃木県) 書記 野地英司 (福島県)</p> <p>○国際若鯉品評会の中止については、再考実施の可能性について各支部に持ち帰り検討することとした。</p> <p>○プーケット南タイ支部が承認された。</p> <p>○中国山東省の鯉クラブについては、必要書類提出・会費納入をもって友好クラブとして承認することとした。中国国内会員については営利目的に偏向しないように指導することとした。</p> <p>○馬上会長より、国内および国外の会員減 少傾向について説明があり、海外支部への審査員派遣への補助を充実させたいとの意見が出された。</p> <p>○馬上会長より、福井県支部長より提出の上申書について、鷹野地区長に確認した結果、誤解であろうとの説明がなされた。</p>
<p>9/3 (第19回) 於：岡山市</p>	<p>1. 次回理事会の開催について</p> <p>2. 本部会員の異動について</p> <p>3. 第52回国際錦鯉品評会について (1)審査員の選考</p> <p>(2)大会要項・審査要領・大会役員・その他</p>	<p>○次回以降理事会の開催について了承された。 ・11月11日 (小千谷市総合体育館) ・2月4～5日 (東京流通センター)</p> <p>○本部会員の異動が下記のとおり承認された。 ・退会2名</p> <p>○審査員長として中島正章常務が選任された。角南専務理事より、各理事の推薦に基づき、第52回国際展審査員の選出・班編成案を同日中に鑑賞審査部により作成することが報告された。</p> <p>○事務局長より、公官庁への後援依頼の手続き上、次回からの国際展骨子は6月の理事会・総会時において決定されるようお願いしたいとの説明があった。</p> <p>○大会収支予算書の説明があり、担当地区関連の予算外経費については、理事会の承認を経て決済することが確認された。</p> <p>○以下について報告了承された。 ・大会役員の編成 ・審査要項は前回と同様とする ・特別賞は「浅黄」種とする ・全体総合入賞者の協力金について、</p>

	<p>4. 第 54 回国際錦鯉品評会の担当地区について</p> <p>5. 業務執行理事による職務執行状況報告</p> <p>6. 次期役員改選時における各地区の推薦理事候補について</p> <p>7. その他</p> <p>(1)オレンジブックについて</p> <p>(2)山東省の鯉クラブについて</p> <p>(3)中国の海豚杯品評会について</p> <p>(4)地区協議会について</p>	<p>パーティー券 5 枚を進呈する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・パーティーでの入賞魚スライド上映費の予算上程 ・表彰式司会者は、長野県支部で確保できない場合は、昨年と同様とする <p>○東海地区元田常務より、出品目標数の提示があり各地区へ出品協力の要請がなされた。</p> <p>○事務局より、今後の国際展の計画について、振興会新潟地区の協力を得て小千谷市で開催する場合、2 年連続開催は難しい旨報告を受けていることが説明された。これを受けて、第 54 回大会の担当地区を検討することが確認された。</p> <p>○常務以上理事による、平成 29 年度 8 月までの職務執行状況報告が行われた。</p> <p>○地区別の本部会員および通常会員数（8 月 29 日付）の割合に基づき、地区協議会に対して行う、地区別の理事候補推薦数の申し合わせが行われ、各地区協議会に下記の基準を提示することが確認された。</p> <p>東北 2 名、関東 2 名、北陸 1 名、東海 2 名、近畿 4 名、中国 4 名、四国 2 名、九州 1 名（監事含まず）</p> <p>○上田理事よりオレンジブックの改訂の進捗状況が報告された。</p> <p>○山東友好クラブについて、必要書類の提出がなされていないことが報告され、前回理事会での承認前提事項が整っていないことから、決議により友好クラブ承認が撤回された。</p> <p>○中国の海豚杯品評会より審査員派遣依頼が事務局に届いている件について、本会とは関係のない団体であることから対応を取らないことでも了承された。</p> <p>○中島常務より、北陸地区協議会を本部主催により開催しようとした理由について質問があり、馬上会長および角南専務から、北陸地区協議会開催に至るまで本部の介入は一切ないとの説明があった。角南専務より、地区協議会で特別に定めた規定があれば文書化し会員に誤解が生じないように努めてほしいとの補足がなされた。元田常務より、支部長から理事会への意見書の提出手順について確認が求められ、意見書等は地区協議会を経て地区長を通して提出するよう確認された。</p>
<p>11/ 11 (第 20 回)</p>	<p>1. 第 52 回国際錦鯉品評会の審査員編制について</p>	<p>○審査班の最終編成表の提示を受け、横山常務より、60 部班の審査員 2 名が</p>

<p>於：小千谷市</p>	<p>2. 平成 29 年 2 月の諸会議開催日程について</p> <p>3. 本部会員の異動について</p> <p>4. 平成 30 年度第 54 回国際錦鯉品評会について</p> <p>5. 国外関係事案について</p> <p>(1)海外品評会への審査員アンケートについて</p> <p>(2)山東省を含む中国からの友好クラブ・支部申請について</p> <p>(3)アジアカップについて</p>	<p>同一支部から選出されている件について質問がなされたが、辞退者の補充による結果であるとの説明がされ、審査班の編成は異議なく承認された。</p> <p>○振興会新潟地区の協力により、鯉オークションを行うことが報告された。今回は、寄付目的を示したチャリティーとしないことが確認された。</p> <p>○原案のとおり、研修会・諸会議の開催が了承された。</p> <p>・2月4～5日 東京流通センター</p> <p>○本部会員が下記のとおり承認された。</p> <p>・承認1名 松下 幸男(静岡)</p> <p>○第54回国際展については、北陸地区または関東地区での担当をお願いしたいとの馬上会長の提言を受け、事務局より提出の国際展開催状況表を検討した結果、北陸地区にお願いすることになった。これを受け鷹野理事は、地区協議会に諮った後に回答したいとの返答を行った。</p> <p>○山本理事より、公認審査員に対して行った海外品評会への参加アンケートの結果が報告された。</p> <p>○事務局長より、山東省コイクラブからの友好クラブ申請のその後の状況については、前回理事会の議決に従い白紙撤回のままであること、会費納入者は日鱗誌の個人購読者の扱いとされていることが説明された。中島常務より、中国ばかりに傾倒せず、インドネシア他の地域に目を向けて愛鱗会の趣旨を良く理解する愛好家を獲得すべきとの意見が出された。鈴木副会長より、中国国内では支部活動を行っておらず、アマチュアでない会員の存在の懸念があるとの意見が出された。馬上会長は、山東省のグループについては、愛鱗会の団体として活動する意思があれば再申請するように通達を送ることを事務局に指示した。</p> <p>○山崎理事より、アジアカップの開催状況について、過去の輪番制に従い次回は中国国内であるが、開催都市は決まっていないことが説明された。野瀬理事より、アジアカップの愛鱗会への関与について確認が促され、開催の正式決定後の審査員派遣要請には対応するが、開催そのものについては関与しないという発足時の合意について説明が行われた。事務局長より、振興会理事長からアジアカップの開催は山東省で行いたいとの連絡を受けていることが報告された一方、角南専務理事からは広東支部も開催を希望して</p>
---------------	---	---

	(4)その他	<p>いるのではという意見が出された。これらの意見をふまえ、愛鱗会としてはアジアカップの開催経緯には関与せず、正式に審査員依頼を受けた時点で対応することとした。</p> <p>○事務局長より、イランの鯉愛好家団体からコンタクトがあり、会の趣旨等の返答を行ったことが報告された。</p>
<p>2/ 4~5 (第 21 回) 於：東京</p>	<p>1. 会員の異動について</p> <p>2. 第 52 回国際錦鯉品評会の結果および収支決算報告について</p> <p>3. 平成 29 年度諸会議等開催日程について</p> <p>4. 平成 28 年度予算執行状況の報告</p> <p>5. 平成 29 年度事業計画・収支予算について</p> <p>6. 国外関係事案について</p> <p>7. 業務執行理事による職務執行状況報告</p> <p>8. 各部会の結果報告 (1)総務部会の結果報告</p>	<p>○本部会員の異動が下記のとおり承認された。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・退会者 2 名 <p>○原案に対し、懇親会スライド上映費および支部協力金、阪井養魚場よりの寄付金の修正を加え、収支決算が承認された。</p> <p>○諸会議開催日程について下記のとおり承認された。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成 28 年度の監査業務 4 月 21 日 (本部事務局) ・第 22 回理事会等 5 月 13~14 日 (名古屋市) ・第 5 回定時総会・理事会・研修会等 6 月 17~18 日 (姫路市もしくは岡山市で調整) <p>○事務局長および経理担当職員より、平成 28 年度の収支予算の執行状況についての報告が行われた。</p> <p>○事務局長より、平成 29 年度事業計画および収支予算について説明が行われ、原案どおり承認された。一部の理事より、部活動の予算についての要望が出されたことに対し、角南専務理事は、各部で詳細な事業計画を提出し必要な予算の要望書を提出すようとの回答を行った。平成 29 年度の事業計画に各部の活動を活発にする事を記載することとした。</p> <p>○事務局長より、山東省の鯉クラブから友好クラブの再申請が行われ、必要書類が整ったことが報告された。決議により友好クラブとして承認された。</p> <p>○第 10 回アジアカップについて、全日鱗としての対応が再確認され、審査員派遣依頼に対する協力は行うが、開催地決定等運営に関する直接関与は行わないこととした。</p> <p>○常務以上理事による平成 29 年 1 月までの職務執行状況報告が行われた。</p> <p>○事務局長より、職員規定について改訂案を全理事に提示し、常務以上役員会で細部を調整したことが報告された</p> <p>○総務部上田理事より、オレンジブックについても改訂作業が進行中であることが報告された。</p>

	<p>(2)品評会事業部会の結果報告</p> <p>(3)国際部会の結果報告</p>	<p>○品評会事業部山崎理事より、第 52 回国際展の反省を踏まえ下記について報告された。</p> <ul style="list-style-type: none">・審査員においては、審査要領・手順について正確に把握すること・出品者においては、品種・サイズの申告を正確にすること・出品用ビニール袋については、第 53 回指定品を次回も継続すること・入賞協力金については、パーティー券を配布し、パーティーでの入賞者への祝賀・交流を盛んにするという趣旨を理解していただき、今後も継続の予定であること・最多出品賞・最多得点賞・最多取扱者賞については、トロフィーの代わりに賞品を検討中であること <p>○第 53 回国際展の特別賞は「無地もの」種とすることが発表された。</p> <p>○国際部山本理事より、「国際公認審査員」制度の導入について、資料に基づき私案が提示された。馬上会長より、グレードの高い審査員を要請し、海外品評会に参加する渡航費用助成を手厚くするためにも同制度の必要性が提言された。白坂監事より、監事意見として、グレードの高い審査員が国際公認審査員であることの根拠に対する疑問、また、元来ボランティア精神に則って運営してきた会の原点から、新制度の審査員への金銭的優遇措置に対する疑問が呈された。鷹野理事より、国際公認審査員と同様の制度については、過去に討議された際に、公認審査員以上の特別な資格を定めることについて異論が出て棄却された経緯があり、今回の再提案に対して異議が唱えられた。これらの意見を受け、馬上会長から、国際公認審査員制度は必要と考えるが、今理事会で審議が進まないのであれば、継続審議の必要はないという結論が出された。</p> <p>○元田常務より、現行の審査員制度にあっても海外品評会に参加する審査員に対して、ある程度の旅費助成が必要であることが説明され、その原資の確保については、9 月理事会での了承に則り、下記のような徴収案が提案された。</p> <ul style="list-style-type: none">・国外会員のうち、審査員有資格者および審査員を目指す研修者全員に対して、年間 4,000 円の研修会協力金を願います。・この協力金は本部が徴収し公認審査員会の収入とする。
--	--	---

	<p>9. 第 54 回国際品評会の担当地区について</p> <p>10. 支部長会の結果報告</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・この協力金納入者は、納入年（西暦）の審査経歴・研修会参加経歴を本部に登録することができる。 ・海外品評会参加審査員への旅費助成金は、公認審査員会予算より拠出する。 ・この協力金は、当面、国外会員を対象とし、国内会員については継続審議とする。 <p>以上の条件をもって採決を行い、国外会員の研修会協力金の徴収について承認された。この件は公認審査員総会にて報告されることが確認された。</p> <p>○北陸地区長鷹野理事より、第 54 回国際展の担当について、次回北陸地区協議会で討議するが、地区会員の多数意見として担当を引き受けることが難しい状況にある事が報告された。これに伴い、国際展担当について協議するよう関東地区長に依頼した。</p> <p>○玉木理事より、支部長会の討議内容について、下記の報告が行われた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・支部内の会員減少に伴い、支部間の交流を活発にするように提言が行われ、実例が紹介された。 ・国際展への地区・支部への出品目標数設定と同様に、本部役員も同様に目標出品数に協力すべきではないか。 ・国外重視の案件ばかりが目立つ。国内会員を大事にしてもらいたい。 ・支部長会へは、常務以上の役員の出席して欲しい。
--	---	--

(2) 監 査

期日・場所	監 査 事 項	結 果
<p>4/18 於：別 府</p>	<p>1. 平成 27 年度収支決算並びに業務全般について</p>	<p>○収支決算書に加え、平成 25 年度決算より内閣府への提出が義務付けられている公益目的支出計画実施報告書の監査が実施された。</p> <p>○直前の熊本地震により、事務局建物も若干の被害を被った。当面の業務継続に支障はないことが事務局長より報告された。</p>

(3) 総 会

期日・場所	議 案 事 項	会 議 の 結 果
<p>6/5 (第 4 回) 於：神戸市</p>	<p>1. 平成 27 年度事業報告に関する件 2. 平成 27 年度計算書類承認に関する件 3. 平成 28 年度事業計画及び予算に関する件</p>	<p>○事業報告の内容が報告された。 ○原案のとおり承認可決された。</p> <p>○事業計画及び予算の内容が報告された。</p>

	4. 補充役員の選任に関する件	<p>○伊庭副会長退任にともなう役員補充のため、選任決議により下記の役員が承認可決された。</p> <p>理事：田中 昭次（大阪府）</p> <p>上記役員の任期は、承認可決より平成29年6月予定の定時総会までとなる。</p>
--	-----------------	---

(4) 公認審査員会総会

期日・場所	議 案 事 項	会 議 の 結 果
6/5 (第4回) 於：神戸市	1. 平成27年度事業報告について 2. 平成27年度収支決算について 3. 平成28年度事業計画及び予算について	<p>○事業報告の内容が報告された。</p> <p>○原案のとおり承認可決された。</p> <p>○事業計画及び予算書が報告された。</p>

(5) 公認審査員審議会

期日・場所	議 案 事 項	会 議 の 結 果
5/14 於：岡山	1. 審査員の登録取消について 2. 審査員の資格認定について 3. 名誉公認審査員の推薦について	<p>○登録抹消</p> <ul style="list-style-type: none"> ・名誉公認審査員 1名 ・公認審査員 3名 ・公認審査員補 1名 ・地方公認審査員 2名 <p>○公認審査員の認定 6名</p> <ul style="list-style-type: none"> 福田 守 (秋田県) 武藤 弘幸 (福島県) 中山 雅幸 (三重県) 中野 榮一 (和歌山県) リチャード・トマス (アメリカ NMW) 彭 錫欽 (台湾楊梅) <p>○地方公認審査員の認定 4名</p> <ul style="list-style-type: none"> 舘山 弘志 (神奈川県) 栗 武照 (岡山) ウィルソン・ガン (シンガポール) ゴーン・イー・ピン (マレーシア) <p>○名誉公認審査員の推薦 なし</p>
2/4 於：東京	1. 審査員の資格認定について	<p>○公認審査員補の合格認定 10名</p> <ul style="list-style-type: none"> 森田 晃 (栃木) 高橋 健彦 (山形) 乙幡 敏夫 (東京都) 山場 進一 (越前) マイク・フレイトィ (ポトマック) ドク・グエン (トライステート) アンドリュウ・フィン (シンガポール) 李 玉徳 (香港) マイケル・チェン (スラバヤ) 石 造華 (フォルモサ) <p>○地方公認審査員の認定 5名</p> <ul style="list-style-type: none"> 中谷 隆昭 (大阪) ジェイソン・ゲバラ (カロライ) ゲイリー・フィン (北加)

	<p>2. 名誉公認審査員の理事会への推薦について</p> <p>3. 審査員の資格停止について</p>	<p>フーブ・テライク (ベルギー) 篠原 啓治 (徳島)</p> <p>○名誉公認審査員 1 名が推薦されたが、本人により辞退</p> <p>○公認審査員の資格停止 山田 豊昭 (広島) 平成 29～31 年度の 3 年間の停止</p>
--	--	---

(6) 公認審査員会役員会

期日・場所	議案事項	会議の結果
<p>5/14 於：岡山</p>	<p>1. 第 4 回公認審査員会総会の開催日程・場所について</p> <p>2. 第 4 回公認審査員会総会への提出議案について</p> <p>(1)平成 27 度事業報告 (2)平成 27 年度収支決算 (3)平成 28 年度事業計画 及び収支予算報告</p>	<p>○原案のとおり総会提案が承認された。</p> <p>○原案のとおり報告された。</p> <p>○原案のとおり総会提案が承認された。</p> <p>○原案のとおり報告された。</p>

(7) 部 会

期日・場所	部 会 名	主 な 協 議 事 項
<p>6.5 於：神戸市</p>	総務部	・オレンジブックの改訂について
	品評会事業部	・第 52 回国際錦鯉品評会について (ビニール袋の変更、品種の確認) ・国際若鯉品評会の中止について
	国際部	・海外支部の動向について ・国際展での海外審査員・審査員補助について
	飼育魚病研究部	・飼育魚病研究会の開催計画 (2 月講演会の依頼について) ・最近の魚病情報について
<p>9/4 於：岡山市</p>	鑑賞審査部	・国際展審査要領の変更・確認 ・部員対象の実物審査研修会の実施 (於：岡山桃太郎鯉)
<p>2/4 於：東京</p>	総務部	・オレンジブックの改訂箇所の考察 ・職員規定の改訂作業 (事務局報告)
	品評会事業部	・第 52 回国際展小千谷大会の反省 ・第 53 回国際展大会について
	国際部	・海外会員との交流及び意見聴取

(9) 委員会等

開催会名	回数	開催会名	回数
常務以上役員会	4 回	表彰審査委員会	1 回
公認審査員審議会	2 回		